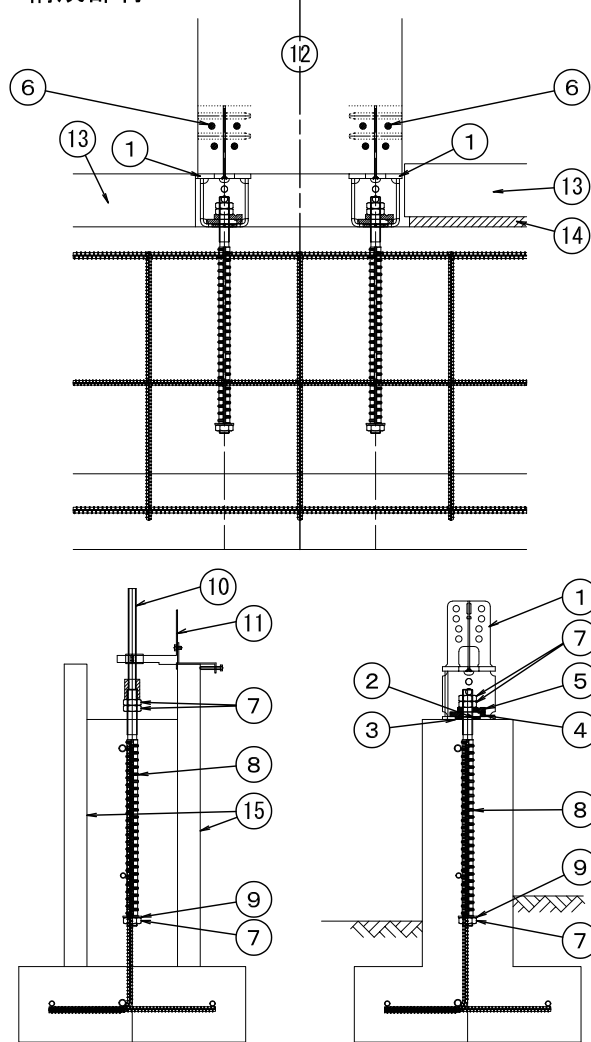


1. 構成部材・名称

～構成部材～

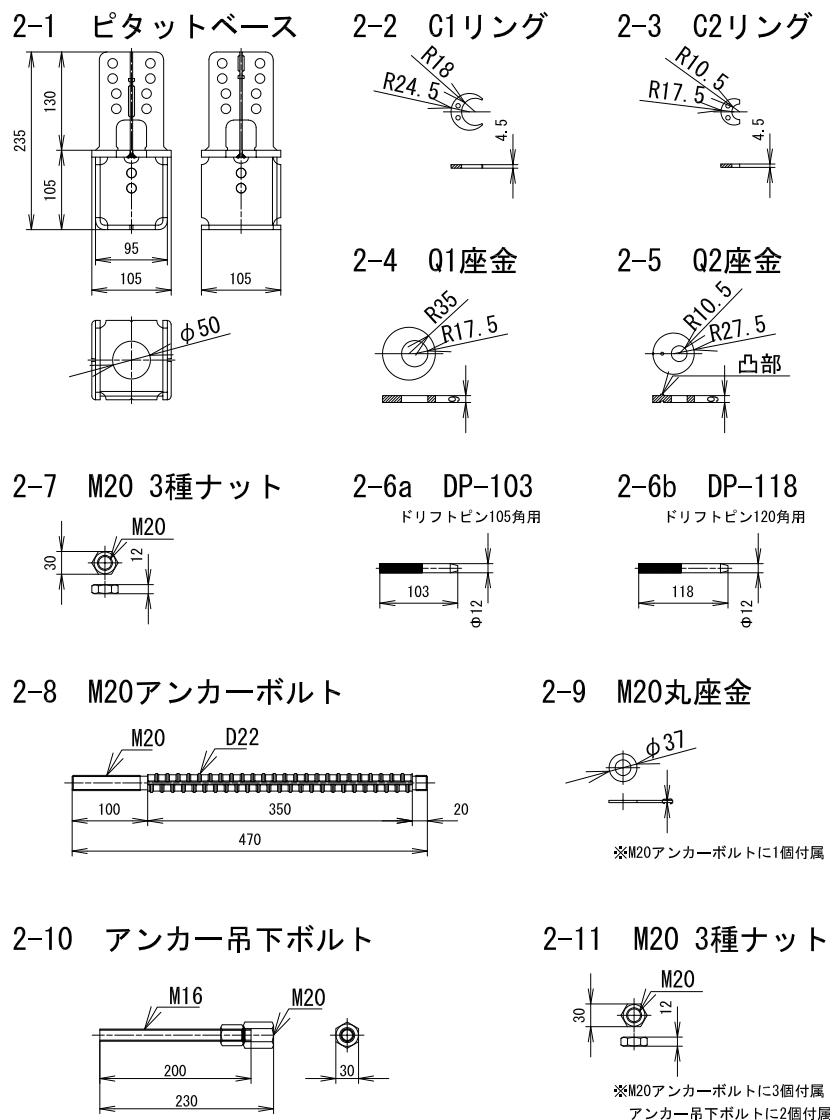


～構成部材の名称～

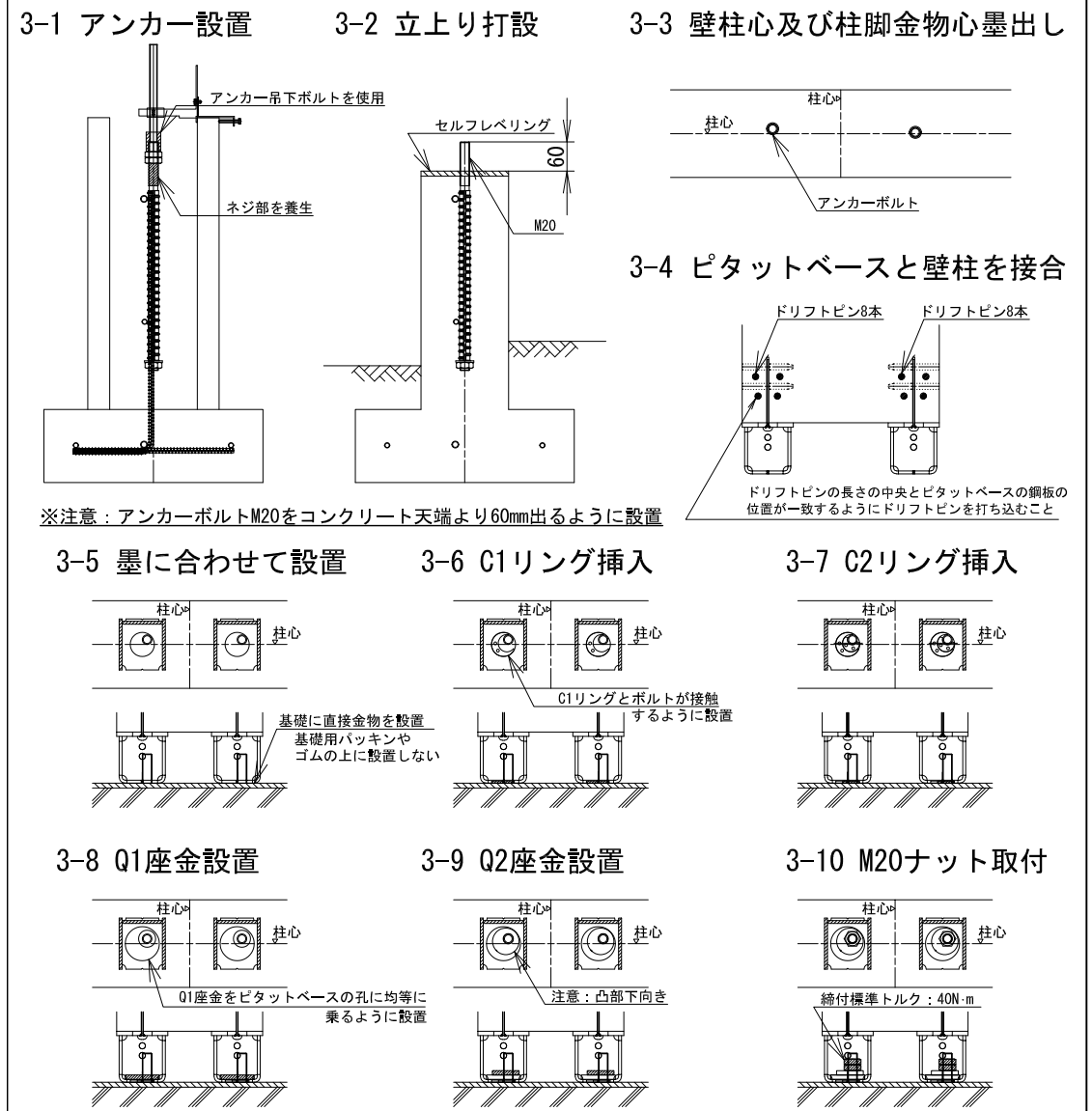
- ① ピタットベース^{※1}
- ② C1リング
- ③ C2リング
- ④ Q1座金
- ⑤ Q2座金
- ⑥ ドリフトピン
- ⑦ M20 3種ナット
- ⑧ M20アンカーボルト
- ⑨ M20丸座金
- ⑩ アンカー吊下ボルト
- ⑪ アンカー吊下治具 (市販品)
- ⑫ 壁柱 (集成材)
- ⑬ 土台
- ⑭ 基礎用パッキン
- ⑮ コンクリート型枠

※1: 「ピタットベース」は岡部株式会社が販売する高耐力柱脚金物 (HP評価-17-017)

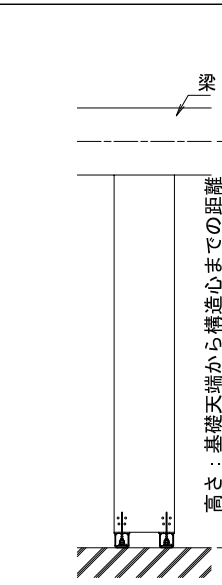
2. 部材寸法



3. 施工

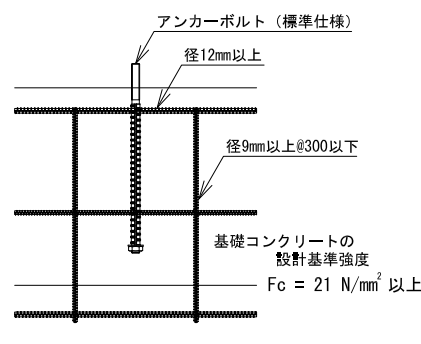


4. 高さ



5. 基礎 ～基礎の標準仕様～

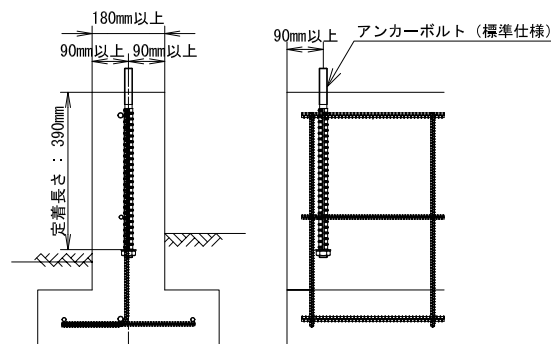
5-1 主筋・縦筋



・基礎の「標準仕様」は上記を満足するとともに、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017年版)」等に記載の許容応力度設計の仕様規定を満足すること。

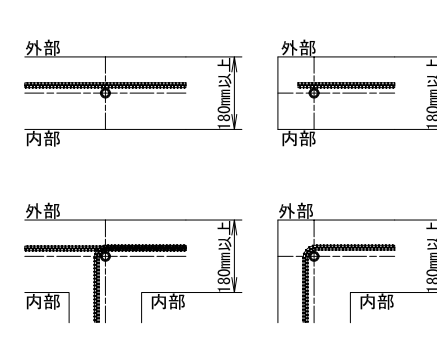
★基礎の「標準仕様」はアンカーボルトの基礎への定着力を発揮するために必要な仕様であり、基礎梁の応力伝達 (曲げ・せん断等) を必ず満足するものではありません。構造計算等において本工法の直下に位置する基礎の仕様が、上記記載の標準仕様を超える場合、その基礎仕様を厳守してください。

5-2 立ち上がり部の幅・縁距離



・立ち上がり部の幅はアンカーボルトが標準仕様の場合の値であり、仕様・配置によってアンカーボルトのかぶり確保できるように適切に拡張する。

5-3 アンカーボルトの配置



・アンカーボルトは基礎主筋よりも建物内部側に配置すること。

6. 壁柱材 (集成材)

6-1 壁柱材の適用範囲

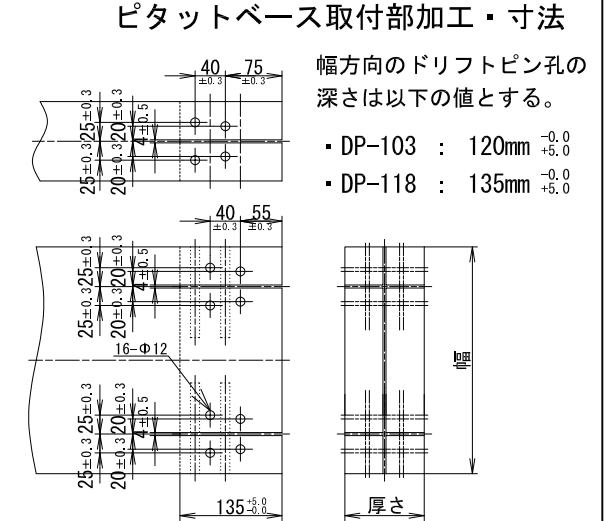
壁柱に使う木材の適用範囲		仕様
種類		JAS規格集成材 ^{※1}
強度区分	同一等級構成集成材	E65-F255 以上
	異等級構成集成材	E65-F220 以上
寸法	幅 (mm) ^{※2}	210mm～450mm
	厚さ (mm) ^{※3}	105mm 以上

※1: 集成材の日本農林規格 (2012年6月21日農林水産省告示第1587号) 構造用集成材 (2003年2月27日農林水産省告示第235号)

※2: 壁柱のモーメント抵抗方向の長さ

※3: 壁柱のモーメント抵抗方向に対して直交方向の長さ

6-2 壁柱材加工図



幅方向のドリフトピン孔の深さは以下の値とする。

- ・DP-103 : 120mm^{-0.0}_{+5.0}
- ・DP-118 : 135mm^{-0.0}_{+5.0}